STRIDA®

a whole new way to move

www.strida.com

OWNER'S MANUAL

index

STRIDAを安全で快適にご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。
お子様や高齢者の方のご使用につきましては、保護者の方が必ずお読みいただき
ご説明、ご指導ください。
在住外国人等の方はこの取扱説明書を翻訳できる方から説明を受けてください。
取扱いがわからないときは、お買い上げ販売店にご相談ください。
お求めになったSTRIDAの取扱説明書は、あてはまらない内容も含まれていますので
ご容赦ください。

index　　ページ

注意事項――――――――――――――――――――――――2
乗車前の点検――――――――――――――――――――――3
折り畳み手順――――――――――――――――――――――4
組立て手順――――――――――――――――――――――5
サドルの取付け・高さ調整――――――――――――――――6～7
保管について――――――――――――――――――――――8
ご使用について――――――――――――――――――――――9
各部の締め付け――――――――――――――――――――――10
ディスクブレーキの調整――――――――――――――――――11
ブレーキワイヤの取り替え――――――――――――――――――12
ブレーキ調整――――――――――――――――――――――13
ブレーキレバー開き調整　ペダルの取り付け――――――――――14
マグネットのクリック調整――――――――――――――――――15
ベルトのテンション調整――――――――――――――――――16
展開図――――――――――――――――――――――――17～18
前後車輪の脱着――――――――――――――――――――――19
パンク修理――――――――――――――――――――――20
ハンドルバーの挿入――――――――――――――――――――21～22
STRIDAインフォメーション――――――――――――――――――23
アクセサリー――――――――――――――――――――――24

Q/Rシートモールディングの取り付け(構成部品)――――――――25
Q/Rシートモールディングの取り付け手順――――――――――26～27
使用方法と調整の仕方――――――――――――――――――28
使用上の注意――――――――――――――――――――――29
トラブルシューティング――――――――――――――――――30
EVO(内装3段変速)ユーザーマニュアル――――――――――――31
EVO(内装3段変速)――――――――――――――――――32
限定保証――――――――――――――――――――――――33～34

注意事項

乗車時にはヘルメットを！

夜間でのご使用はライトの点灯を！

乗員の体重100kg以上の方はご遠慮ください。

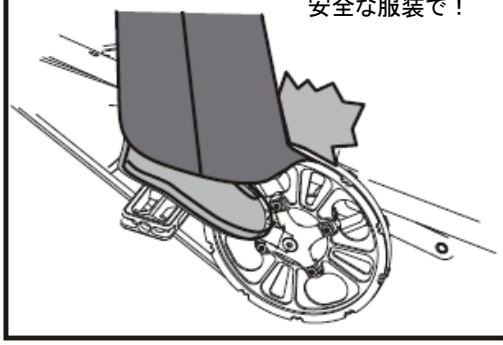
気温ー20℃以下での使用はできません。

凸凹の激しい所は走行しない。

凍結、雪道での走行はしない。

アクロバット的な乗車はしない。

危険
乗車のときは
安全な服装で！



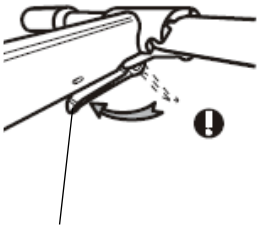
適応身長

	適応身長
最低身長	145cm
最大身長	193cm

乗車前の点検

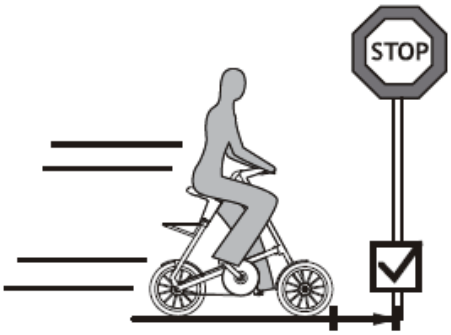
フレームの差し込み部
は確実にロックされて
いますか！
(5ページ参照)

ハンドルバーは固定
レバーで確実にロック
されていますか！

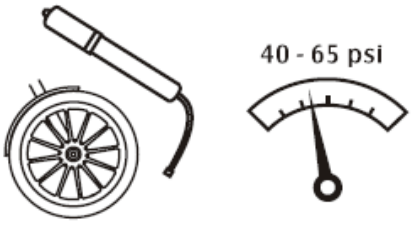


固定レバー

乗車前に必ずブレーキの
効き具合の確認を！

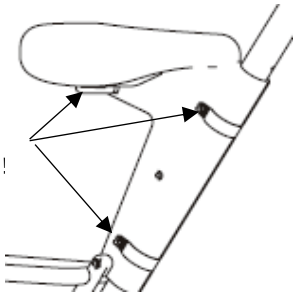


タイヤの空気圧は
適正ですか！



サドルにがたつきはありませんか！
確実に固定されていますか！

緩んでいませんか！

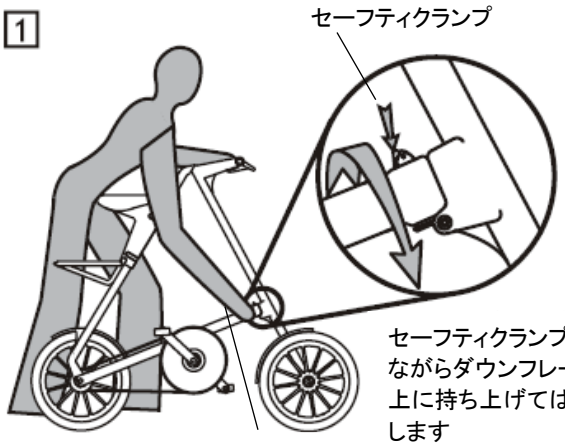


各部のボルトとナットが正しく締め付け
られていることを確認する。
（10ページ参照）

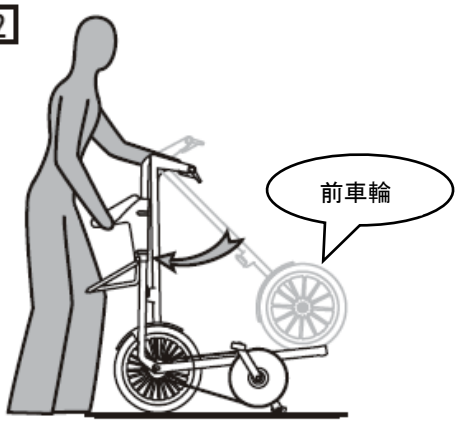
注意：濡れた路面での走行はブレーキ時の
タイヤのグリップ力が低下します。
スピードは控えめに走行しましょう。

折り畳み手順

1



2

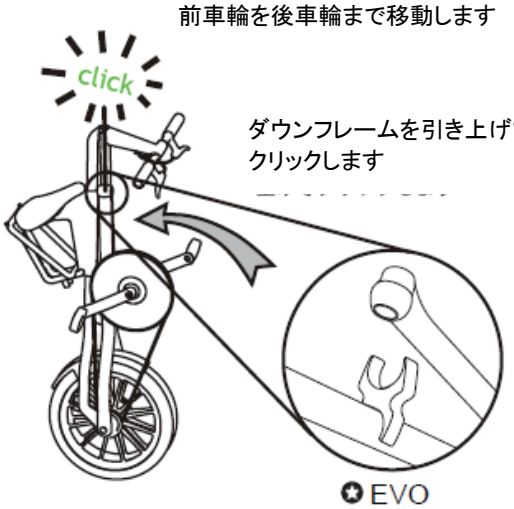


前車輪を後車輪まで移動します

3

前後車輪のマグネットがクリックします

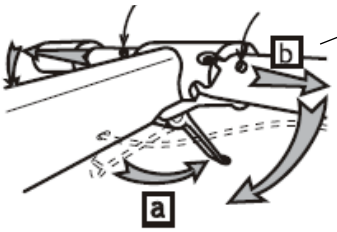
4



ダウンフレームを引き上げてクリックします

EVO

5

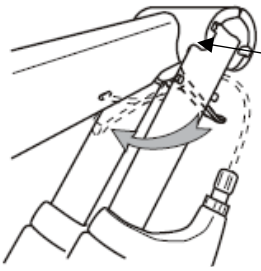


引き抜きます

Folding

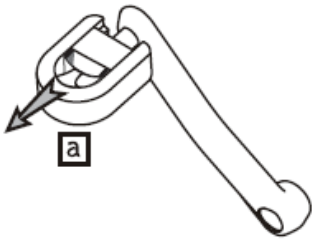
固定レバーを解除し、丸ピンを押しながらハンドルバーを引き抜き折り込みます

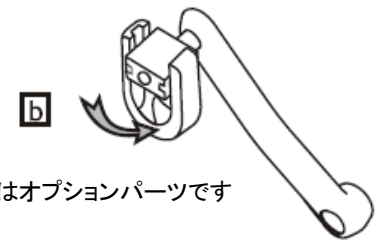
6



ハンドルバーを折り込みます

折り込んだハンドルバーを固定レバーで固定します

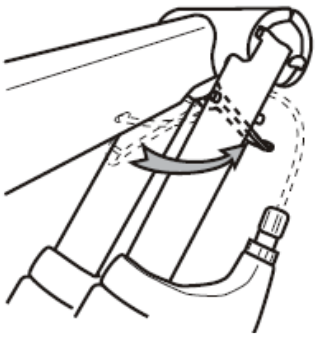




折り畳み式ペダルはオプションパーツです

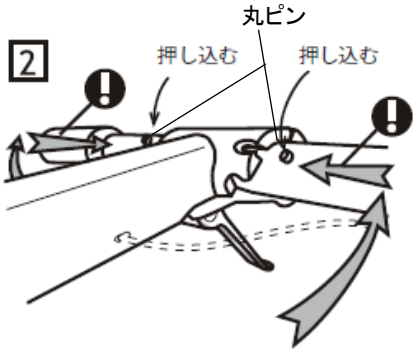
組立て手順

1



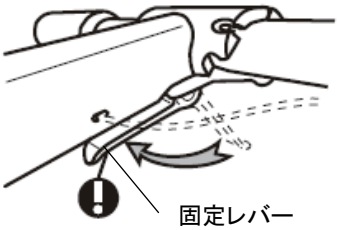
ハンドルバーを固定している
固定レバーのロック状態を
解除します

2



ハンドルバーをステムに片方ずつ
丸ピンを押して左右に押し込みます

3



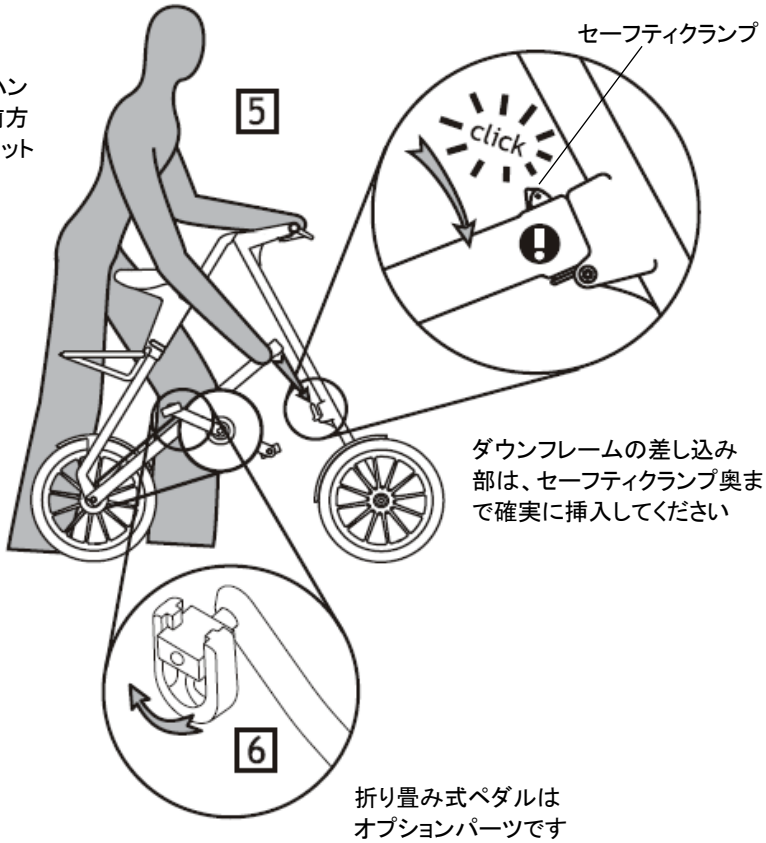
固定レバーを確実に折り込み
ハンドルバーを固定します

片足で車輪を保持し、ハン
ドル左側を図のように前方
下方向にこじるとマグネット
のクリックが解除します

4

図のように片足で車輪を保持し、ハンドル左側を
前方下方向にこじるように力を加えると、前後車
輪のクリック状態のマグネット部を引き離します

5

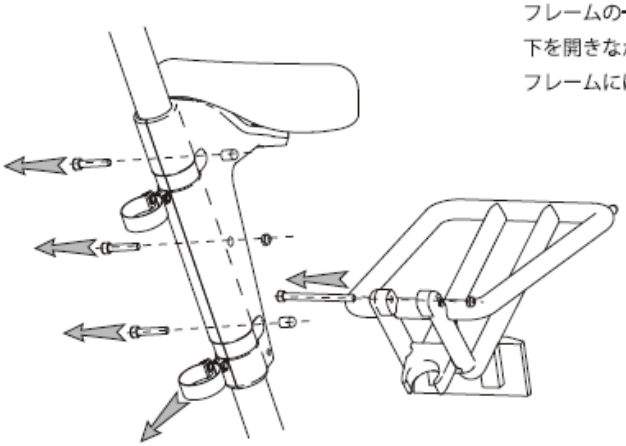


ダウンフレームの差し込み
部は、セーフティクランプ奥ま
で確実に挿入してください

折り畳み式ペダルは
オプションパーツです

サドルの取り付け・高さ調整

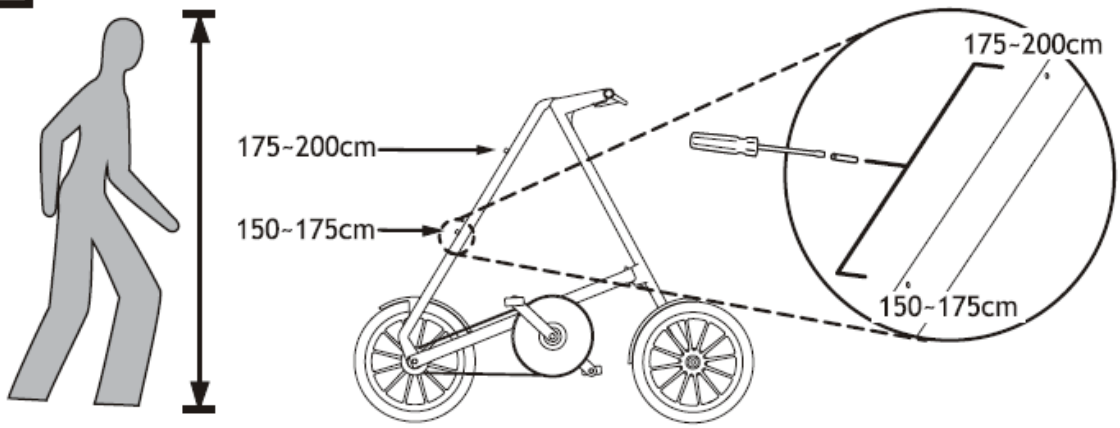
1



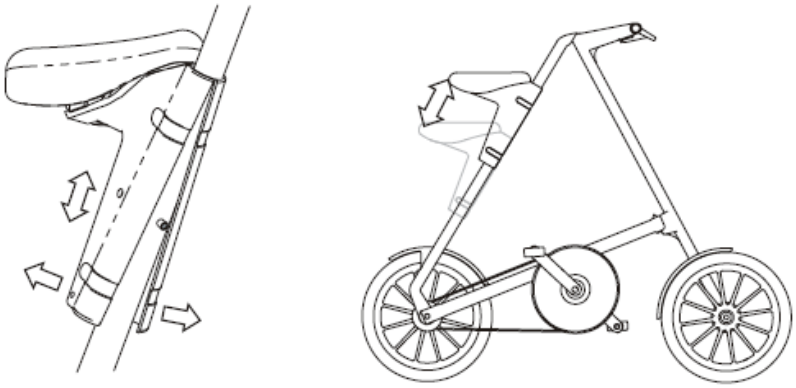
フレームの一番上からサドルラックの
下を開きながら下方にスライドさせて
フレームにはめ込みます

3 の図を参照してください

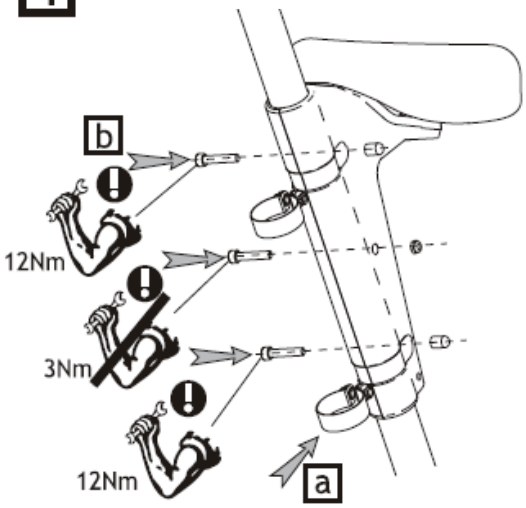
2



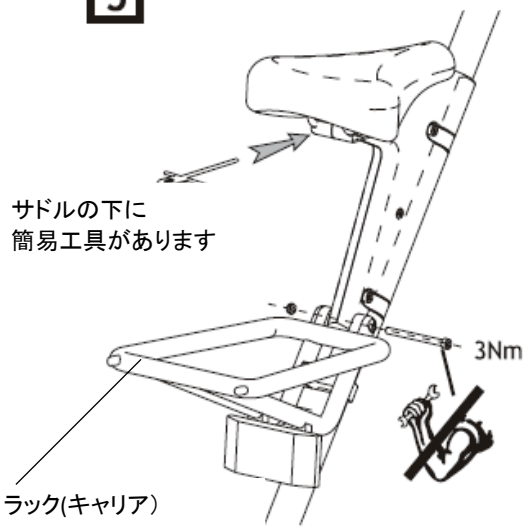
3 サドルの高さ調整はサドルラックの下側を広げながらサドルラックごと上下して高さを調整します



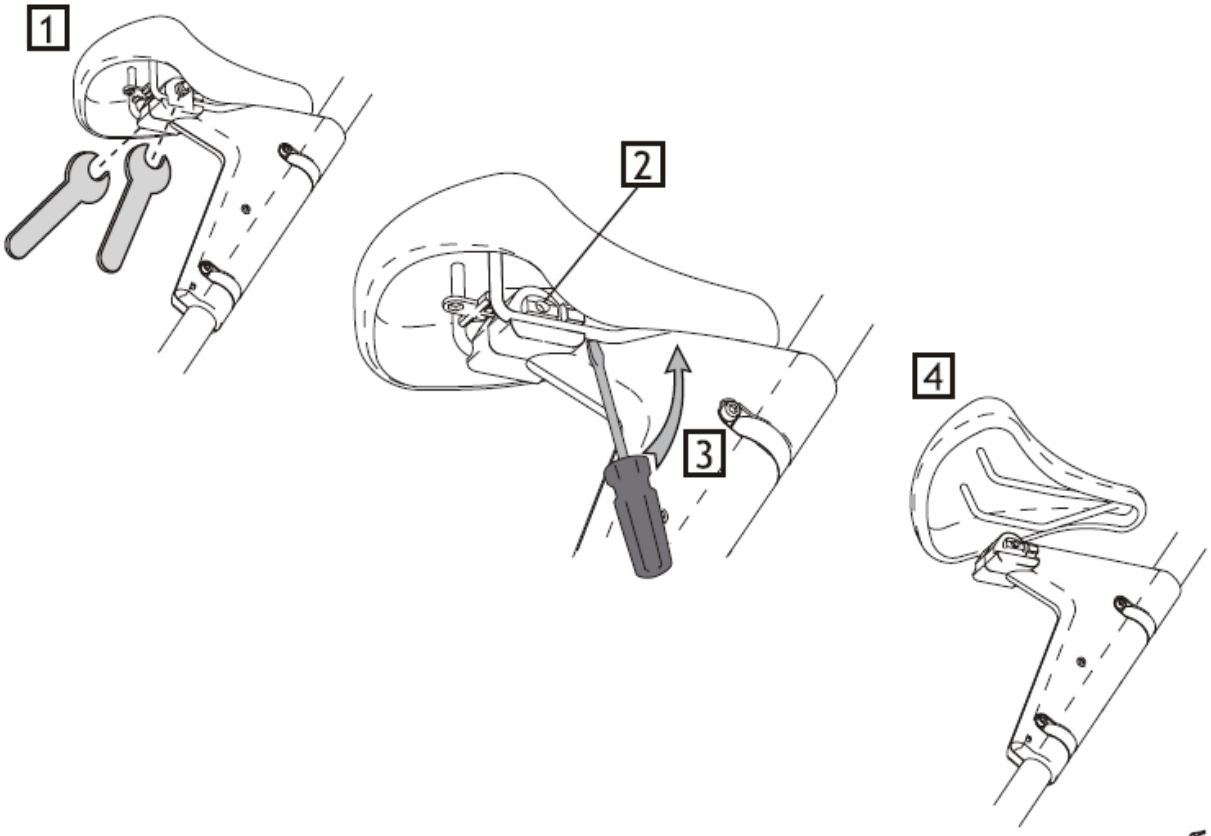
4 サドルラックの固定トルク



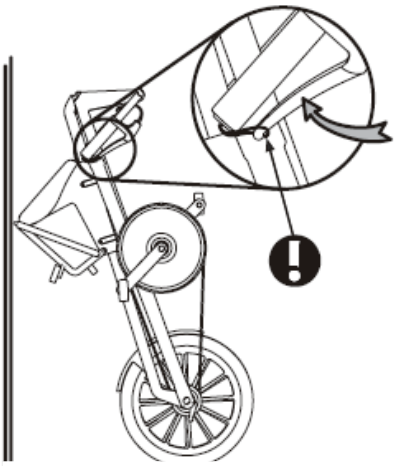
5 ラック(キャリア）の固定トルク



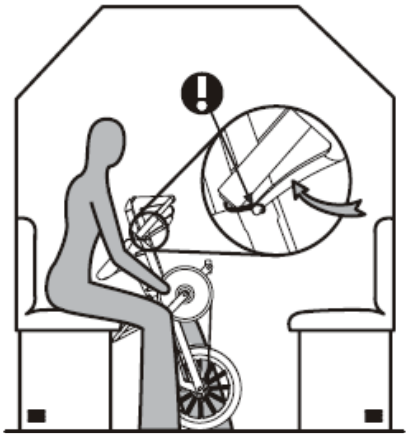
サドルの取り外し



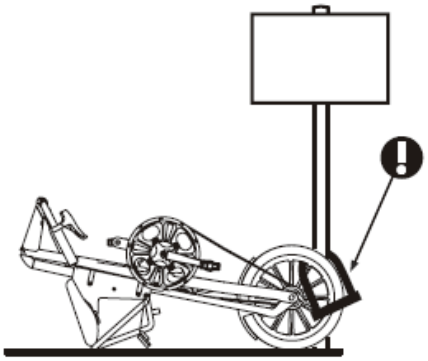
保管について



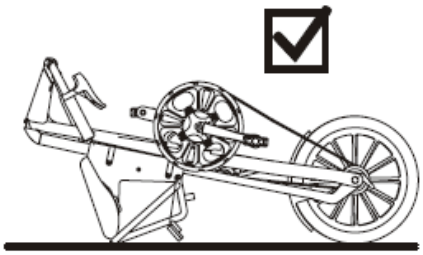
壁などに立てかけて保管するときは
グリップ端のストラップをブレーキレ
バーの端に引っ掛けます（左右）



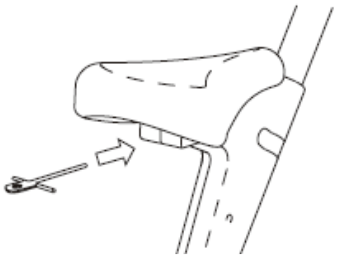
電車内では車輪が回転しないようにグリップの
ストラップをブレーキレバーの端に引っ掛けて
ブレーキングします。
※電車内に持ち込む場合は輪行バックをご使用
ください



STRIDA から離れるときは必ず施錠を！
錠前は市販のものをご利用ください



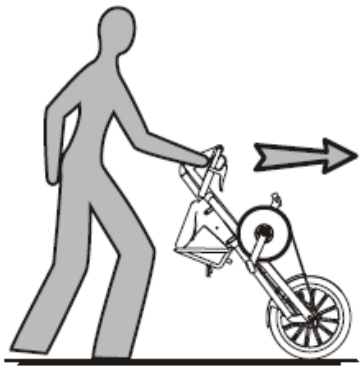
床に置くときはラック(キャリア）をサドル側に
たおして！



サドル下に簡易工具が
あります

ご使用について

持ち運びは



注意事項

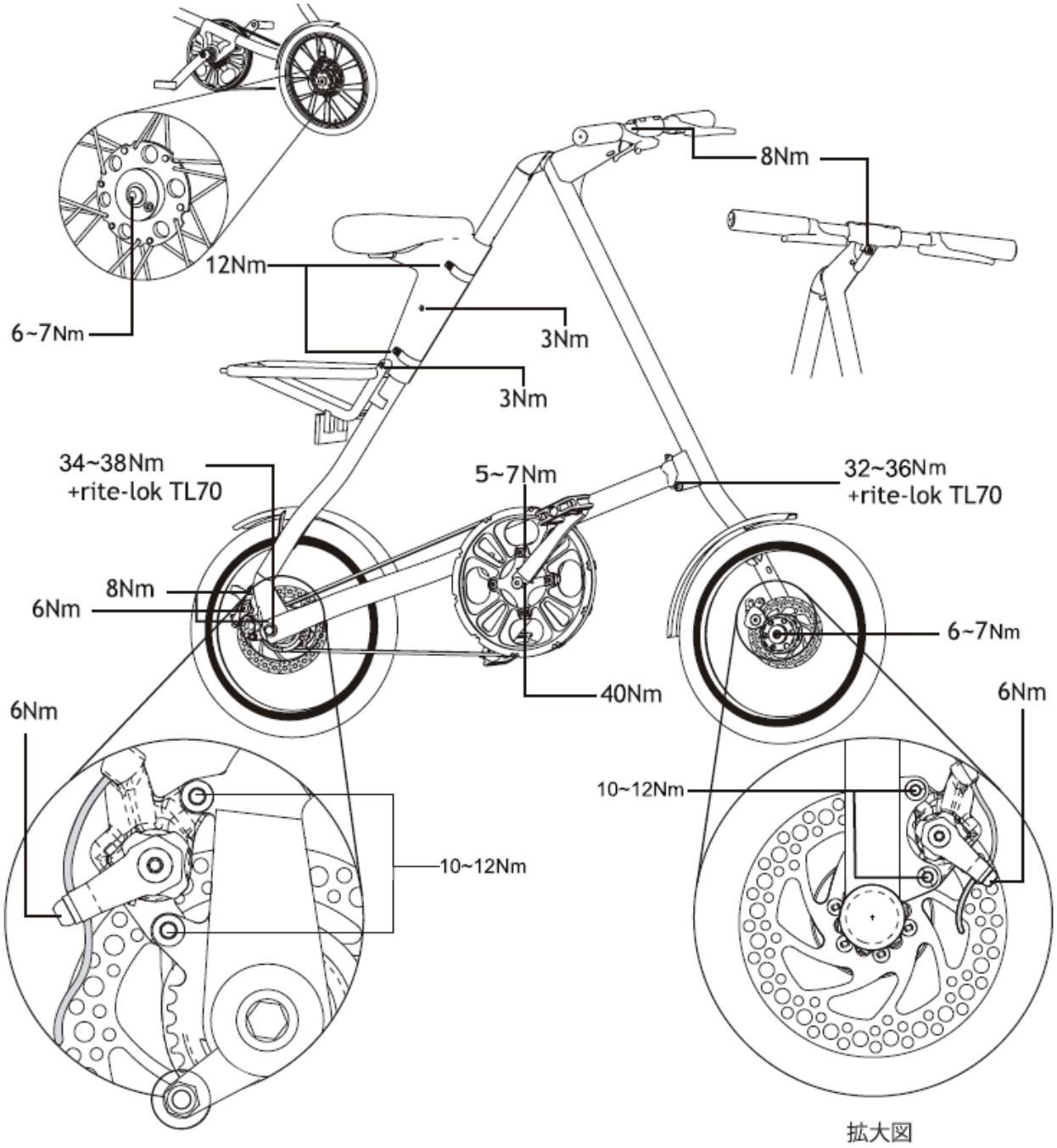
片足で地面を蹴りながら
発進します

片足走行は危険です
厳禁

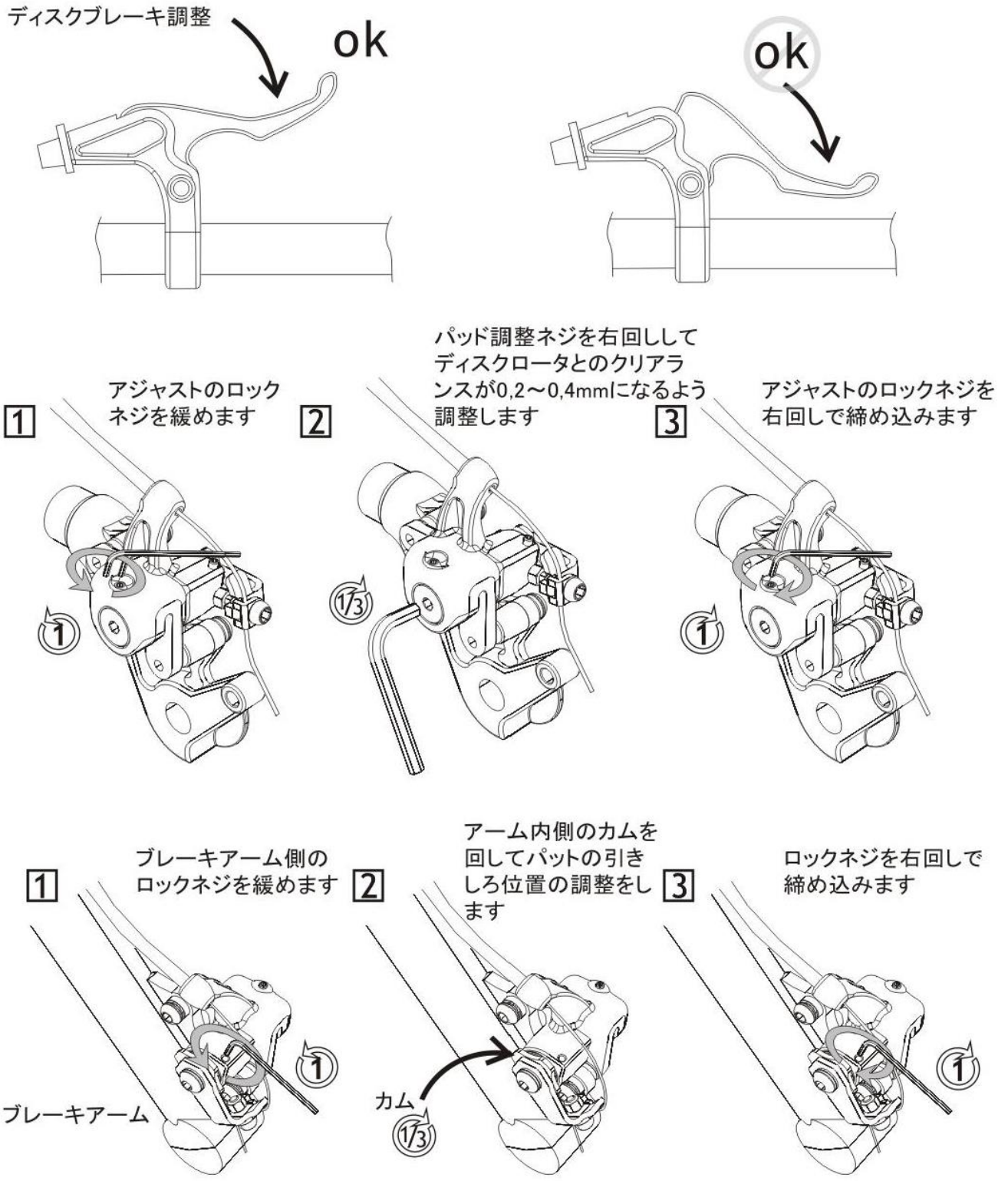
立ちこぎは危険です
厳禁

各部の締め付け

各部の締め付けは定期的に点検を行ってください(数値は締め付けトルクを表しています）



ディスクブレーキの調整



調整後 ディスクローターにパッドが干渉していないか車輪を回転させて確認してください

ブレーキワイヤの取り替え

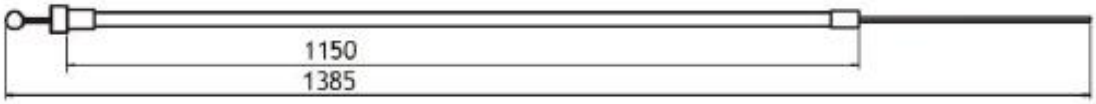
ブレーキワイヤの取り替えは
下図を参照してください

先のとがった金具を用いて
アウターワイヤの先端を引
き出します

ブレーキアウターは下から上方向に
向けて押し込みます

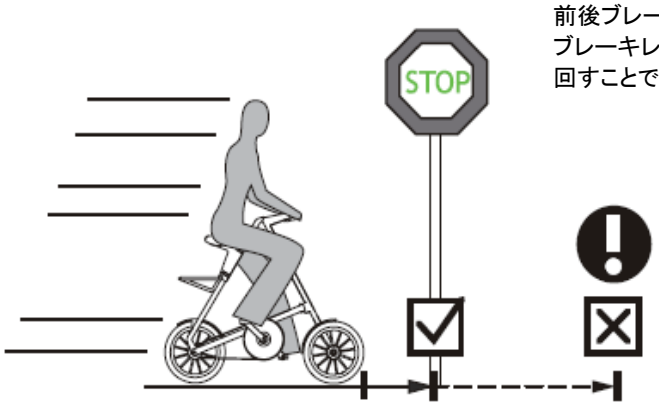
ブレーキアウター挿入後にそれぞれ
のインナワイヤをアウターに挿入し
ます

前ブレーキワイヤ

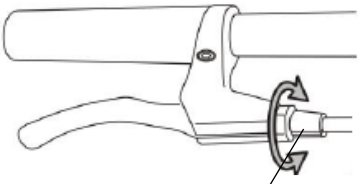


後ブレーキワイヤ

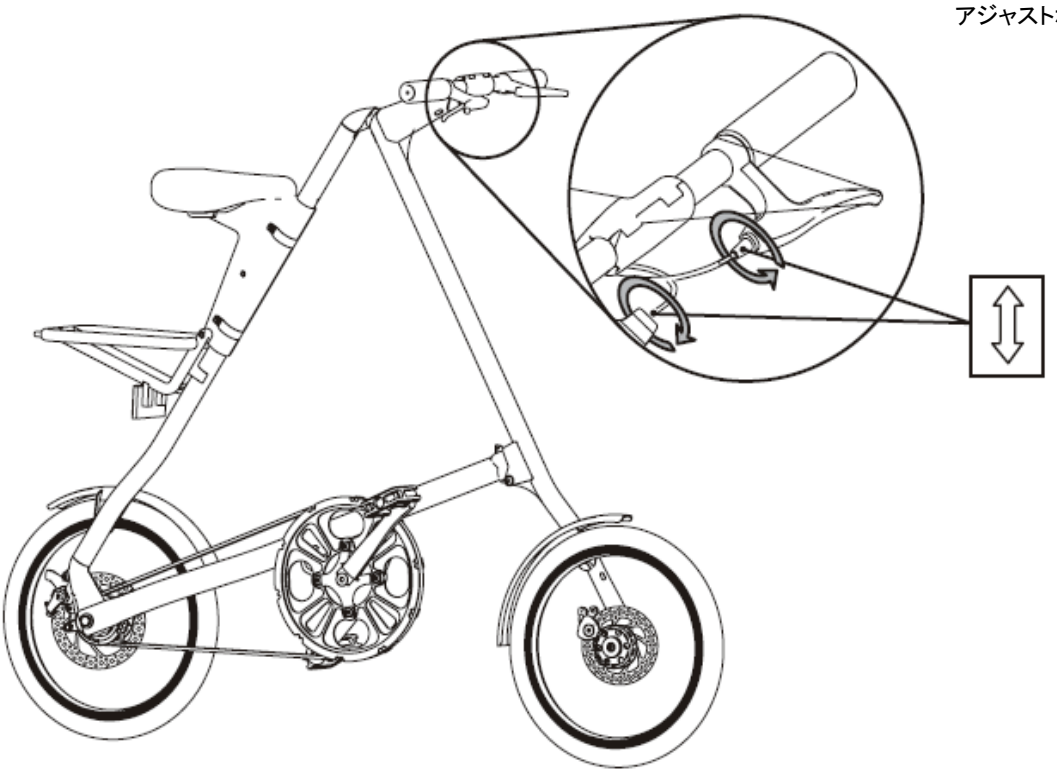
ブレーキ調整



前後ブレーキワイヤの引っ張り調整は
ブレーキレバー側のアジャストボルトを
回すことで微調整ができます

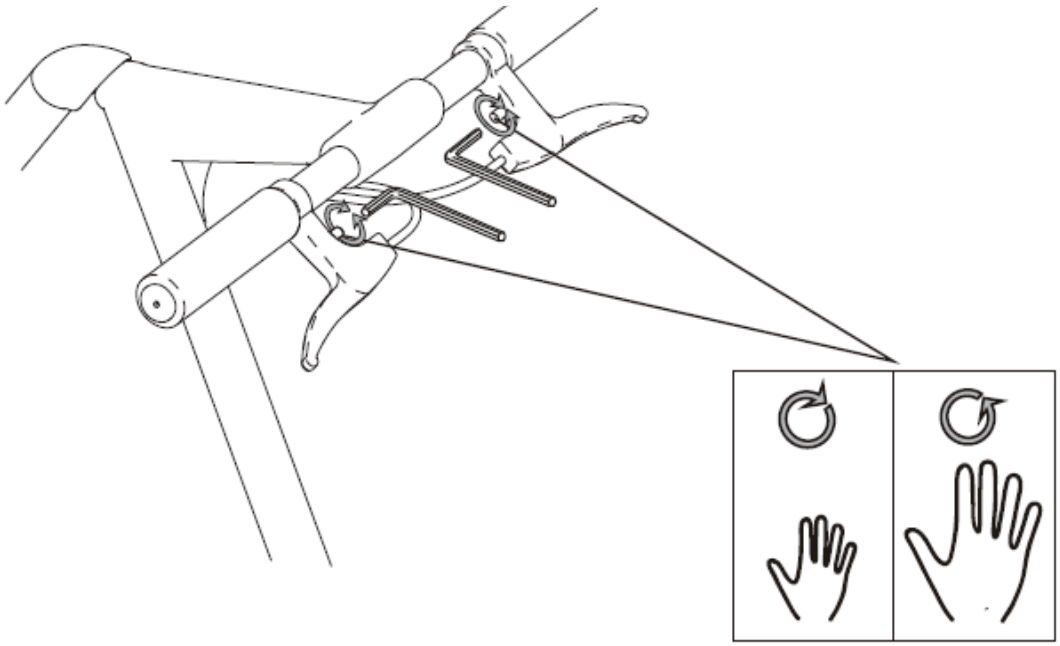


アジャストボルト

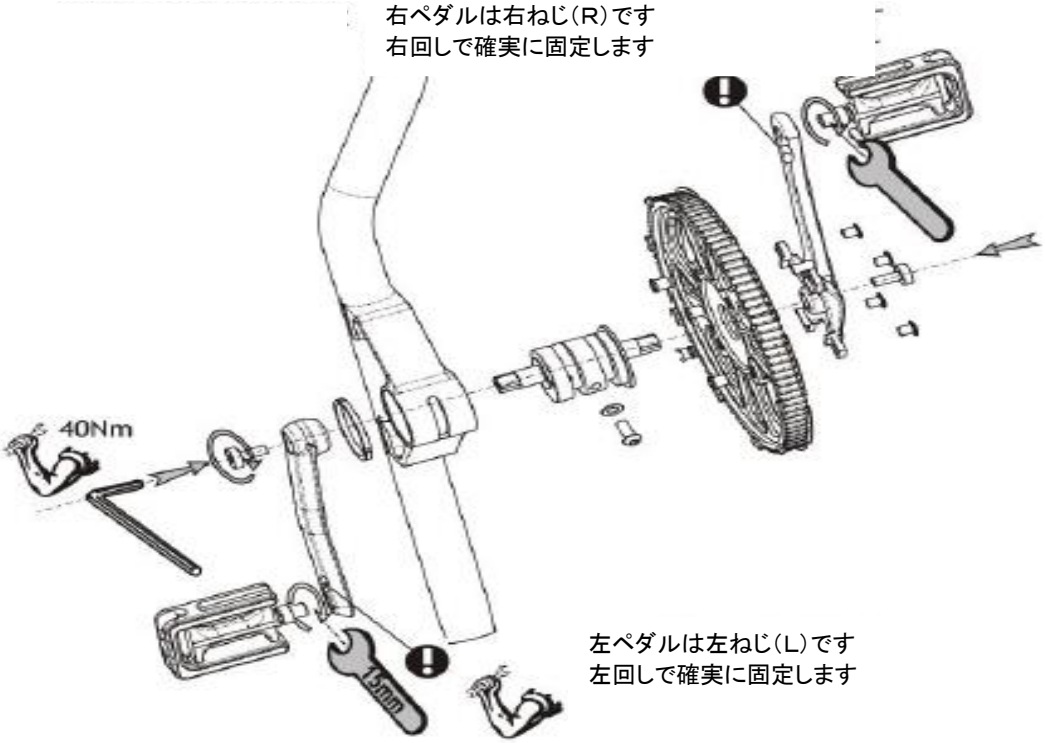


ブレーキレバーの開き調整

ご利用になられる方の手の大きさによってブレーキレバーの開きを調整します
（調整ねじを締めるとブレーキレバーの開きが様くなります）



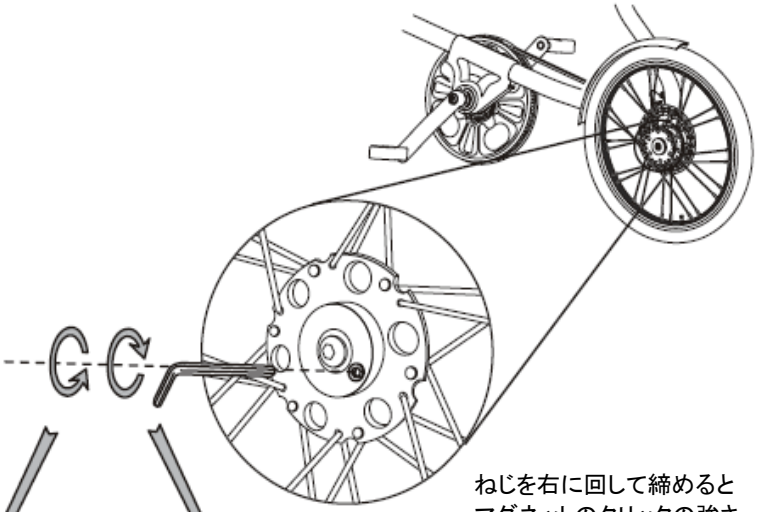
ペダルの取り付け



マグネットのクリック調整

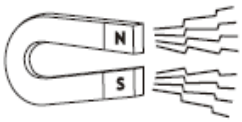
前後車輪のマグネットのクリック強さを
調整することができます

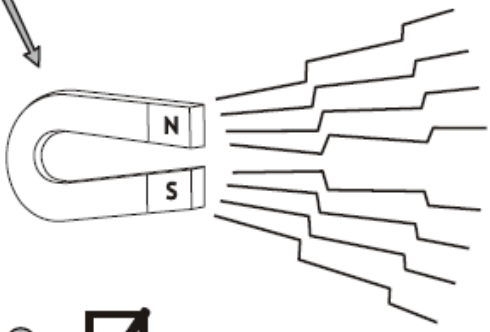
5ページ参照

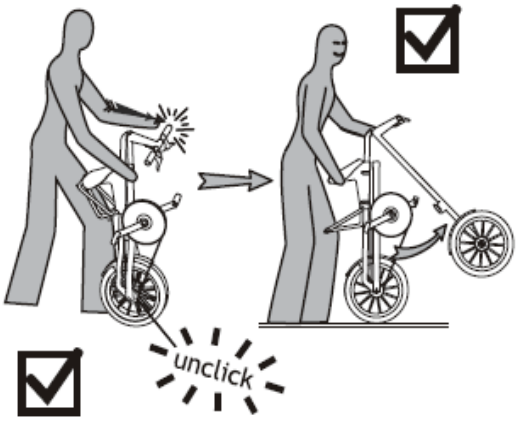


ねじを左に回して緩めると
マグネットのクリックの強さ
が弱くなります

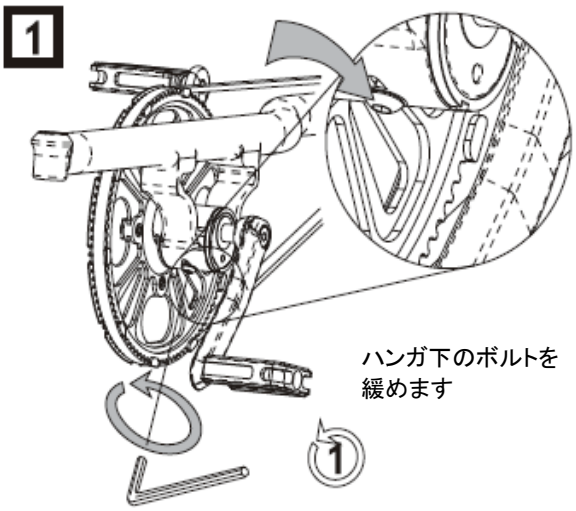
ねじを右に回して締めると
マグネットのクリックの強さ
が強くなります

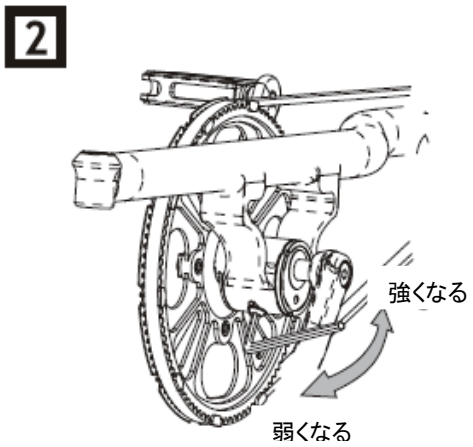




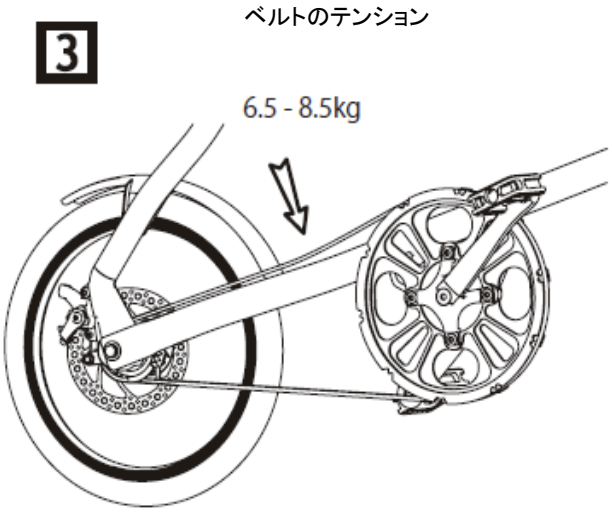


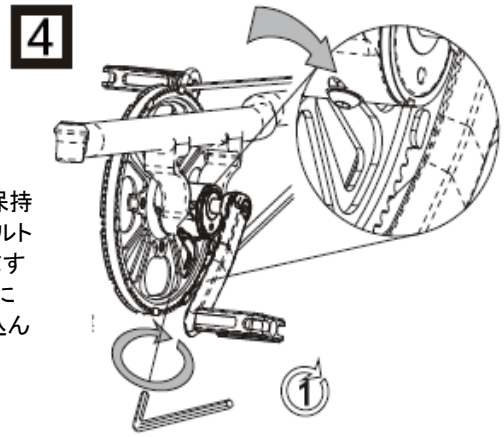
ベルトのテンション調整





使用工具(レンチ)をそのままさした状態で
図の矢印方向に動かします

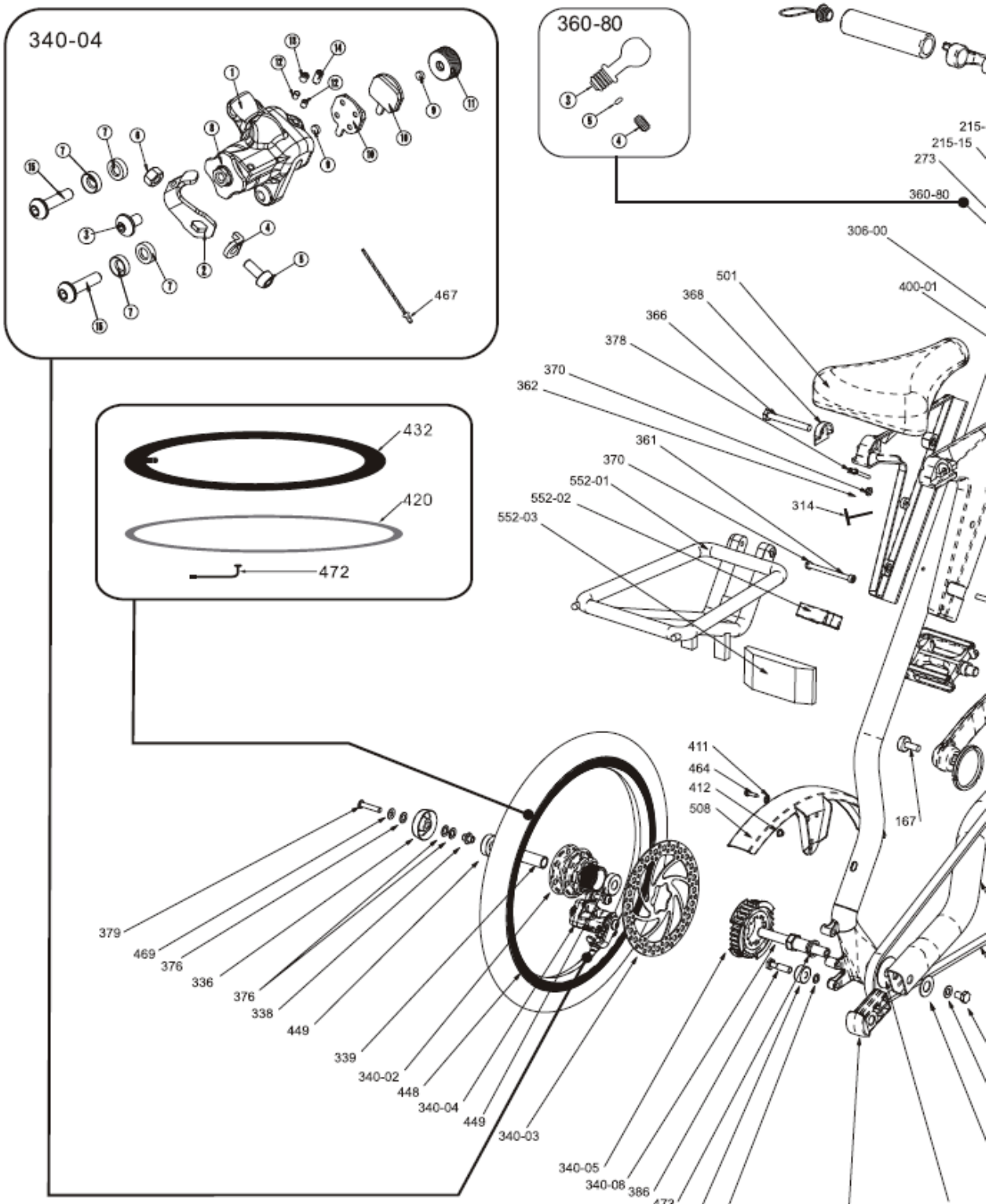


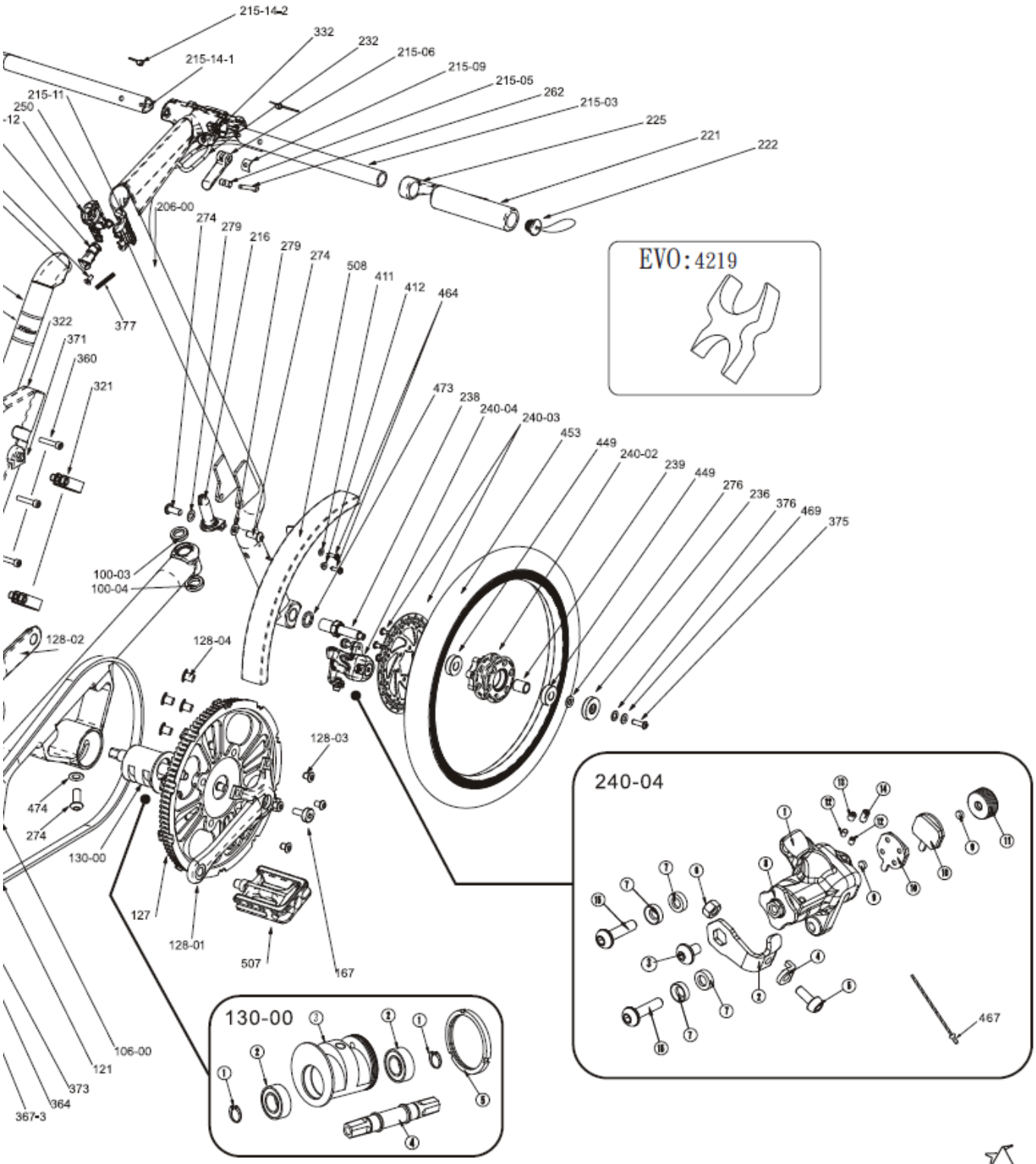


テンションを保持
したままでボルト
を締め込みます
緩まないように
確実に締め込ん
でくださいし

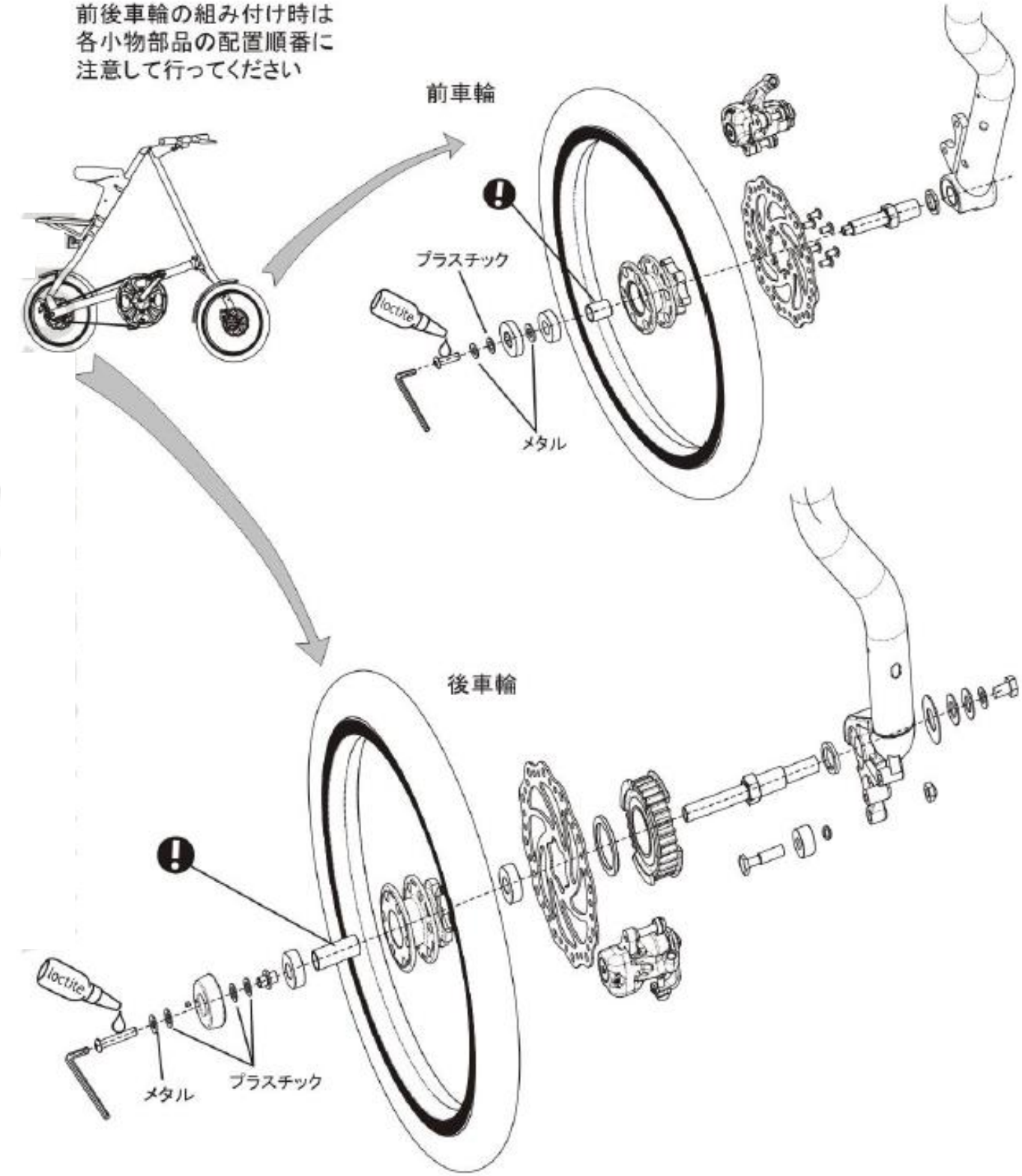
ベルトのテンションの調整後、
試験走行してベルトの張りの
状態を確認します

展開図

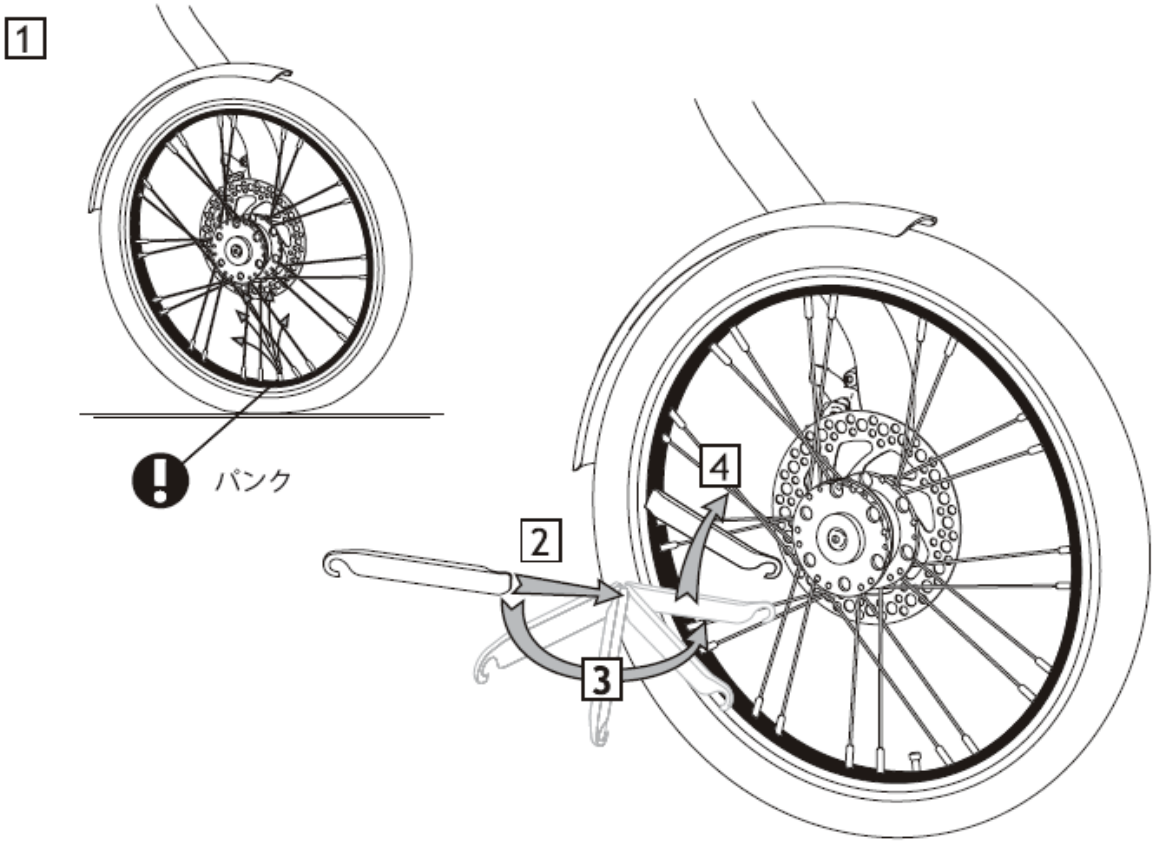

340-04
360-80
467
432
420
472
215-
215-15
273
360-80
306-00
400-01
501
368
366
378
370
362
361
370
552-01
552-02
552-03
314
411
464
412
508
167
379
469
376
336
376
338
449
339
340-02
448
340-04
449
340-03
340-05
340-08
386
473
389
384
100-07
166-1

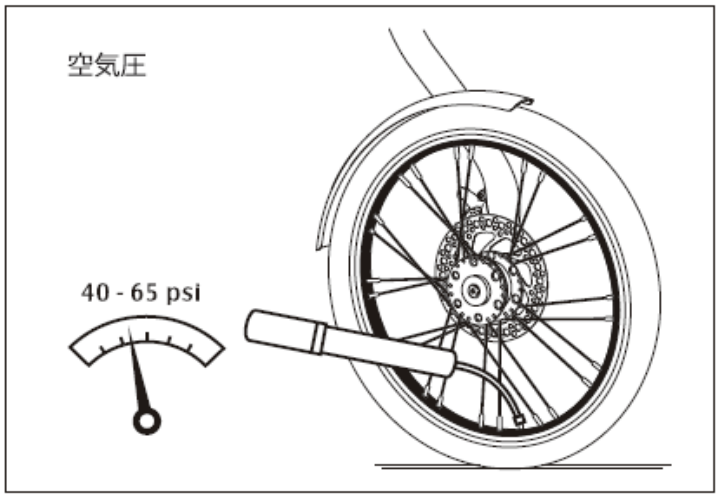

215-14-2
332
232
215-06
215-09
215-05
262
215-03
225
221
222
215-14-1
215-11
250
-12
206-00
274
279
216
279
274
508
411
412
464
377
322
371
360
321
473
238
240-04
240-03
453
449
240-02
239
449
276
236
376
469
375
100-03
100-04
128-02
128-04
128-03
474
274
130-00
127
128-01
507
167
106-00
121
373
364
367-3
EVO: 4219
240-04
467
130-00

前後車輪の脱着

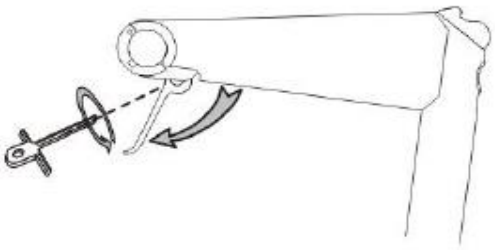

前後車輪の組み付け時は
各小物部品の配置順番に
注意して行ってください
前車輪
プラスチック
loctite
メタル
後車輪
loctite
メタル
プラスチック

パンク修理

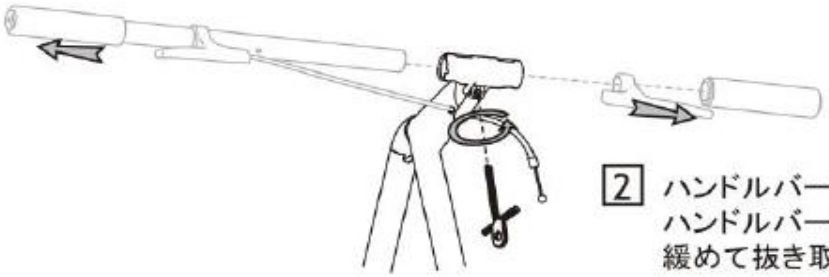




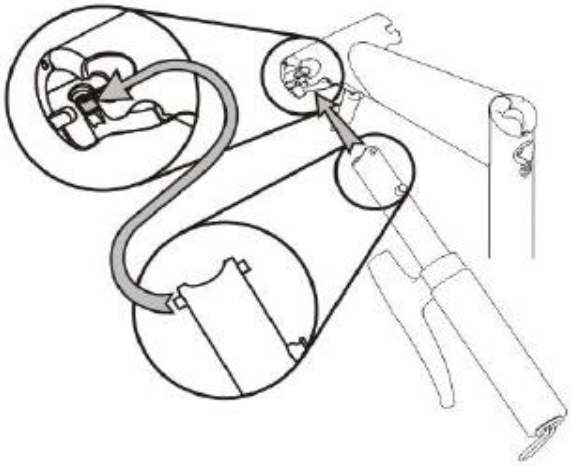
ハンドルバーの挿入



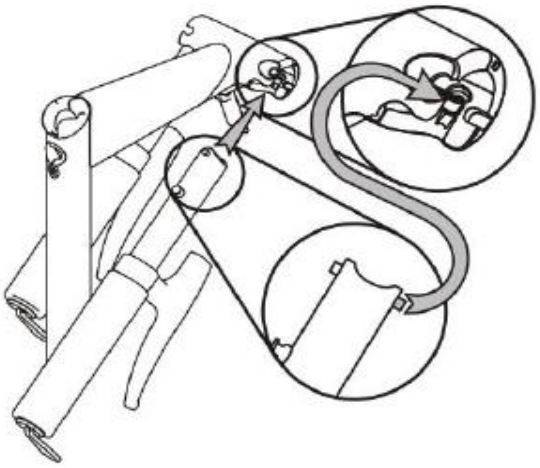
1 ハンドルバー固定レバーの調整ネジは必要以上に緩めないでください
緩めすぎるとハンドルバーが固定できなくなります

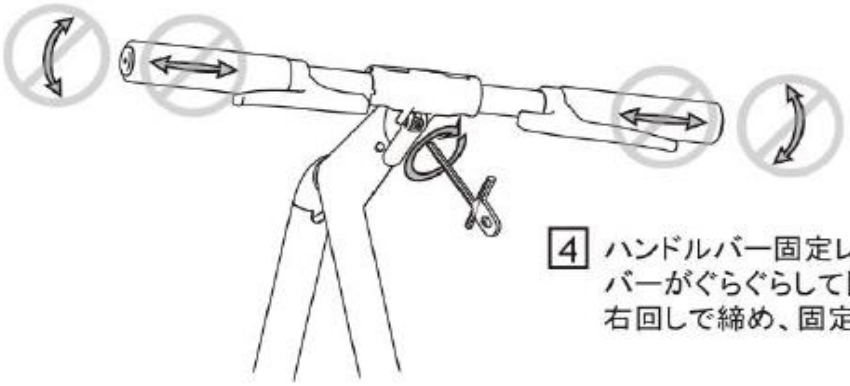


2 ハンドルバー、ブレーキレバーの交換はハンドルバー固定レバーの調整ネジを緩めて抜き取ってから行ってください

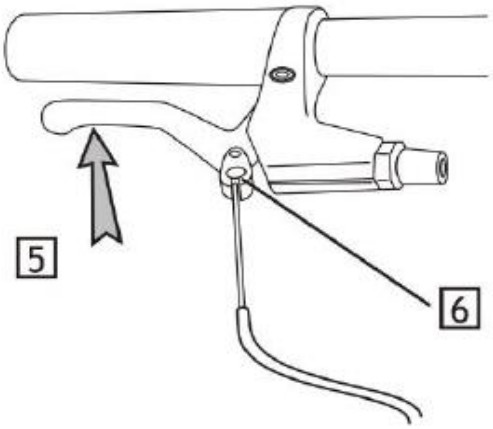


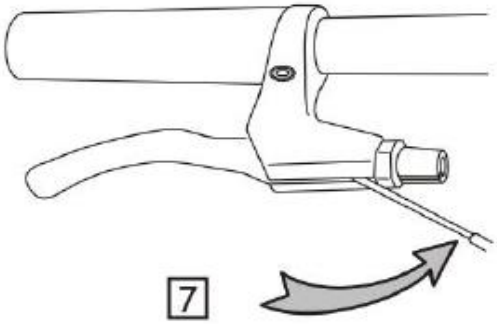
3 ハンドルバーをステムに挿入します
バーの先のピン部をステムの穴にピンを押し込みながら挿入します

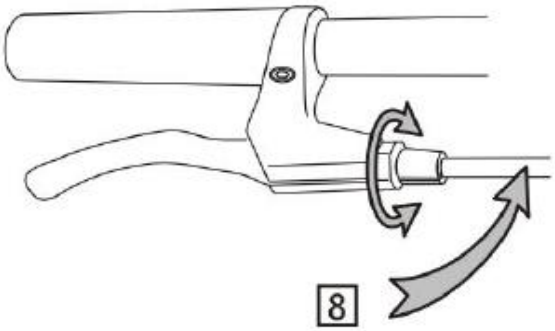




4 ハンドルバー固定レバーをロックしてもハンドルバーがぐらぐらして固定できない場合は調整ネジを右回しで締め、固定レバーのロックを強くします

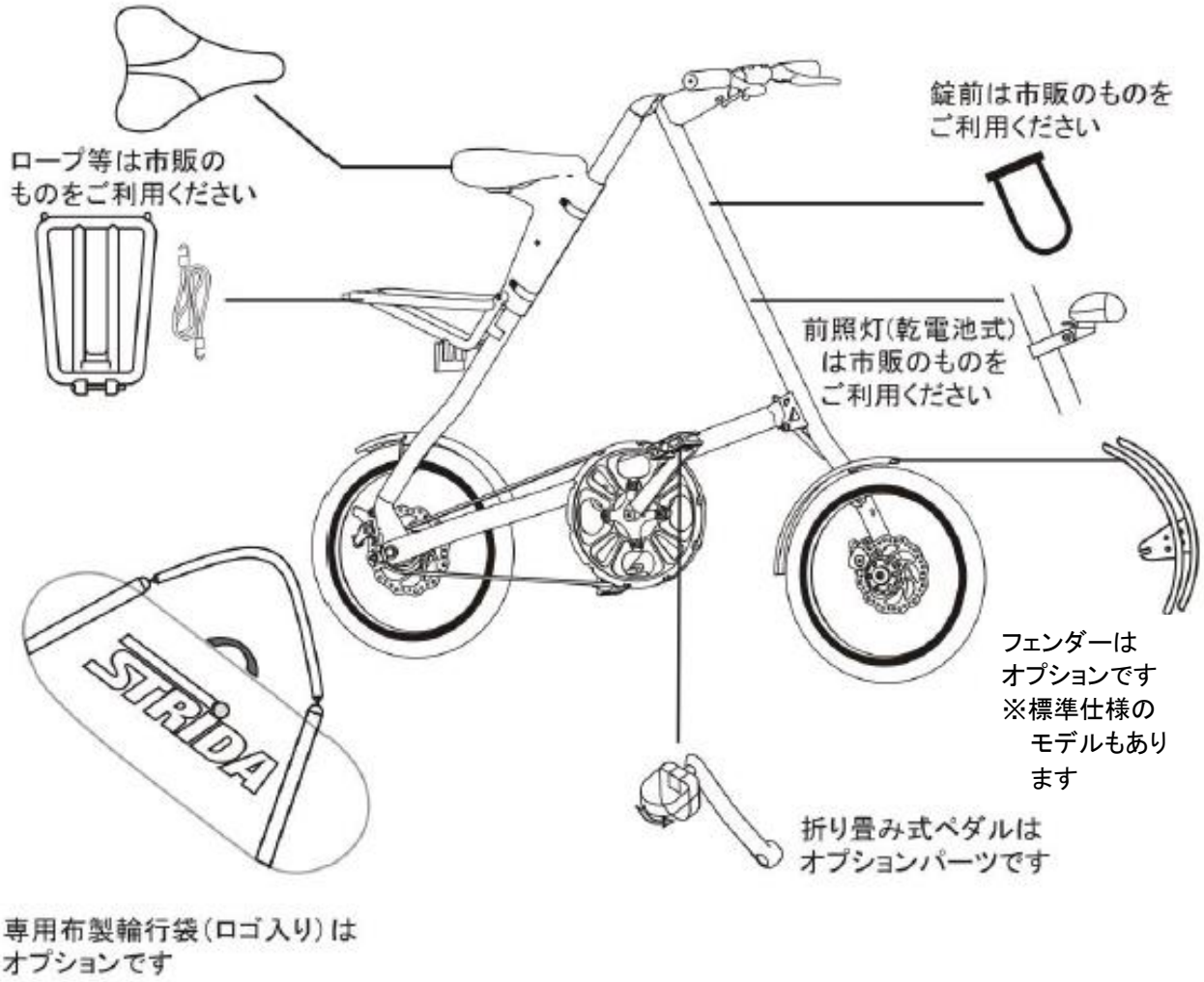






STRIDA の詳細は下記のウェブサイト又は販売店にお問い合わせください
http://www.gsglobal.co.jp/bike

アクセサリー

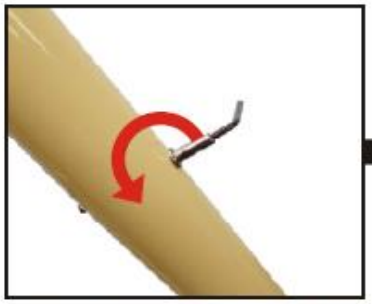


STRIDA の詳しいオプションパーツは専用カタログ、又はウェブサイトを検索してください

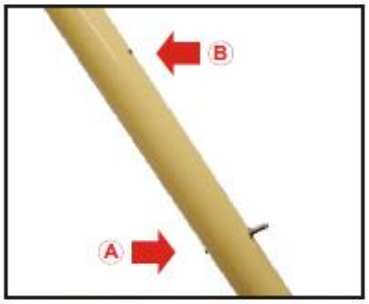
http://www. gsglobal. co. jp/bike

Q/Rシートモールディングの取り付け

お客様の身長にあわせた位置にシートピンを入れて下さい



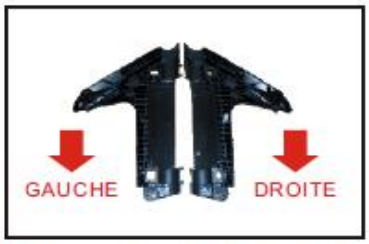
2mmのアーレンキーを使用して
、適正なシートピン穴を選択し
、シートピンを固定して下さい。



Ⓐ身長1m45cmから1m75cmまでの方は、
下側のシートピン穴をお使い下さい。
Ⓑ身長1m75cmから1m93cmまでの方は、
上側のシートピン穴をお使い下さい。
乗車可能最低身長：1m45cm乗車可能最大身長：1m93cm。

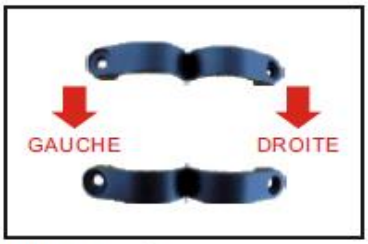
Q/Rシートモールディング

Q/Rシート構成部品：



Q/Rシートモールディング(左右)
Part no.322-4

Q/Rロッキングマウント
Part no.390



Q/Rクランプ
Part no.321-2(Q/Rレバー用, 大穴)

Q/Rレバー
Part no.359-1

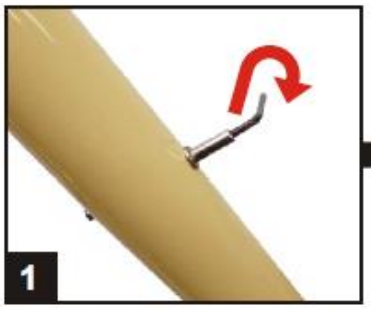
Q/Rロッキングレバー
Part no.390-1

Q/Rロッキングレバー
"C"スロット安全装置
Part no.322-4-2

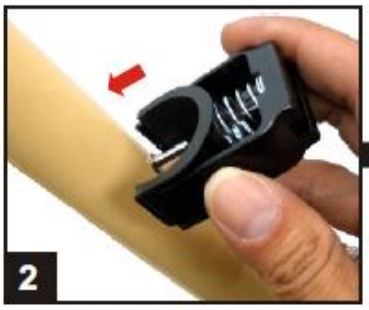
Q/R六角固定ねじ
Part no.360-2

Q/Rシートモールディング取り付け手順

取付け方法：



シートピンが完全に締まっているかをご確認下さい。
(2mmアーレンキー使用)



Q/Rロッキングマウントをシートピンに挿入してリアチューブに、はめ込んで下さい。

Q/Rロッキングレバーを上方向から左右のみぞにそわせてスライドさせ仮取付けしてからロッキングマウントが上下に動くことを確認します。その後ロッキングレバーは外します。

Q/Rグクランプを開いて左右のシートモールディングを分離します。

右側のシートモールディングを取付けますQ/Rロッキングマウントのはめ込み位置はシートモールディングの中央部分が標準です。

左側のシートモールディングを取付けて下さい。

4mmのアーレンキーを使用して固定ねじを締付けます(ねじの頭は丸型)。
(締付けトルクは(10kgf/cm/1Nm)

Q/Rロッキングマウントの左右のみぞに、Q/Rロッキングレバーを上方向からスライドさせてはめ込みますかたい場合は上から軽くたたいてピンが隠れる位置までスライドさせて下さい。

Q/Rロッキングレバーが正しい位置にあることを確認して下さい。ピンが隠れる位置までスライドさせて下さい。

シートモールディングのフック部にQ/Rクランプのヒンジ部をはめ込んでから左側からQ/RクランプとQ/Rレバーを取付けて下さい。(左側は大の穴)

Q/Rナットを締め込みながらロックの強さを調整して下さいそしてQ/Rレバーを操作して固定して下さい(2箇所)確実に固定されていることを確認して下さい。

Q/Rシートモールディングにサドルをはめ込んだあとサドルを前後に動かして位置を調整して下さい。

シートモールディングの穴に付属のアーレンキーを入れて下さい。

シートモールディングの右側からサドル固定ボルトを固定金具を介して入れて下さい。

13mmのスパナでナットを締付けて下さい締め過ぎないように注意して下さい。

Q/Rロッキングマウントのみぞに沿う箇所に、Q/Rロッキングレバー安全装置"C"スロットをスライドさせて下さい。その後Q/Rロッキングレバー上にフックを押し込んで固定して下さい。

Q/Rロッキングレバー安全装置(Part no.322-4-2)が正しい位置に取付けられていることをご確認下さい。

Q/Rレバーが適正に調整されていることをご確認下さい確実に固定されていることを確認して下さい。

使用方法と調整の仕方

使用方法と調整方法：

キャリアを上方向に上げて下さい。

下部のQ/Rレバーを開いて下さい。

上部のQ/Rレバーを開いて下さい。

サドルを左右にゆらして下さい。

Q/Rロッキングレバーを90度に引いて下さい。

Q/Rシートモールディングの高さを調整してください(リアチューブにすべらすように)。

Q/Rレバーが、かたく締めすぎている場合は、Q/Rねじをゆるめて調整して下さい。

Q/Rロッキングレバーはリアチューブに対して、完全に密着していなければなりません。

Q/Rシートモールディングの高さ調整後は、Q/Rレバーが確実にロックされていることをご確認下さい。

使用上の注意（Q/Rシートモールディング）

互換性と安全性：

1.本製品はシートピン(六角固定ねじ)を使用した全ての製品に対応いたします。
(調整には2mmのアーレンキーが必要です。)

2.クイックレリーズ(Q/R)がきちんと固定されていないと、乗車の際、サドルが左右に動いてしまい危険です。安全のためた車前にQ/Rレバーが確実に締まっているかをご確認下さて。

3.座席の取付けは、フレームのチューブに沿って上下に調整することができます。調整できる角度は、垂直ではなく前傾方向です。本取扱説明書の写真を参照下さ い。

4.ご乗車前には必ず本取扱説明書を参照いただき、座席調整後は全てのクランクや固定部品が正しく取付け固定されていることをご確認下さて。

5.座席取付けの際、フレームのチューズ付近にアクセサリーの装着やステッカーなどが貼付されいると、調整の妨げになりますので取り除いて下さい。

6.座席の取付け付近やシートチューブ上に潤滑油など使用しないで下さい。正常な座席の固定力が得られません。

7.危険を伴いますので、通常以外の乗り方(衝撃、ウィリー、縁石ジャンプなど)は絶対しないで下さい。

8.本製品は座席の高さ調整を容易に行えるアクセサリーです。調整の際、スライドすることによって摩擦でフレーム表面にキズをつける可能性があります。

9.製品の仕様変更や改造を加えることは大変危険ですのでしないで下さい。

10.本製品をおいくことで、ご利用いただくお客様が容易に座席の高さ調整を行ラことができます。座席の取付けや調整に付いて、ご不明な点は STRIDA 代理店または専門店には問い合わせ下さい。

トラブルシューティング（Q/Rシートモールディング）

①乗車中、座席が不安定で動く場合

1.Q/Rレバー(part no.359-1)が正しく調整されていること。
確実に固定されていることを確認して下さい。
2.サドルが正しくベースに取付けられていること。確実に固定されていることを確認して下さい。
3.Q/Rクランプ(part no.321-2)が正しく噛み合っていることを確認して下さい。
4.シートピンが正しく固定されていること。破損していないことを確認して下さい。

②Q/Rロッキングマウント（Part no 390）をセッティングする際の注意点

1.Q/Rロッキングレバー(part no.390-1)をセッテングして、Q/Rロッキングマウントが正常に内外へ動かすとバネが正常に収縮することを確認して下さい。
2.シートピンが真っすぐで、破損していないかをご確認下さい。ピンの周リに少量のグリースを塗ることでスムーズに機能します。
3.Q/Rロッキングマウント(part no.390)はいずれの方向でも取付けできます。セッテングしやすい側で取付けて下さい。
4.シートピンに合うQ/Rロッキングマウント(part no.390)の穴をご確認下さい。
5.正しく取付けできない場合は、新しいQ/Rロッキングマウント(part no.390)とシートピンを交換して下さい。

③Q/Rロッキングレバー（Part no 390-1）がフレーム(リアチューブ）に正しく固定できない場合

1.Q/Rロッキングマウント(part no.390)とシートモールディングが正しく取付けられていることをご確認して下さい。
2.サドルとシートモールディングを揺れ動かして確認して下さい。
3.ピンホール角度が合っていない。(この状況では、新しいQ/Rロッキングレバー(part no.390-1)とシートピンを交換しないでQ/Rシートを取付けることはお勧めできません。)

④Q/Rレバー（Part no 359-1）が確実に固定できない場合

1.Q/Rレバーが正しく固定されていること。調整されていることをご確認下さい。
2.ナイロンワッシャーが壊れていないか、脱落して無くなっていないかご確認下さい。
3.Q/Rレバーの車軸やナイロンワッシャーが損傷している場合は、新しいものに交換して下さい。

⑤高さ調整の際シートモールディングがスムーズに上下できない場合

1.Q/Rロッキングレバーとマウント(part no.390 and 390-1)が安全に引き抜かれていることをご確認下さい。(シートチューブの前方90度の方向)
2.サドルとシートモールディングを左右に揺れ動かして下さい。
3.Q/R調整ナットをわずかに緩めて下さい。
4.シートモールディングを再度、調節して下さい。

KS3/3－Speedボトムブラケット

1. 一般情報

内装3段変速について
＊クランクを逆回転させると60度ごとに変速がロータリー式に切り替わる仕組みになっています。
＊ギヤレシオはそれぞれ80%、100%、130%となります。
＊内装3段変速はボトムブラケットに内蔵されています。
＊変速ユニット単体での販売は行っておりません。

1-1ご使用について

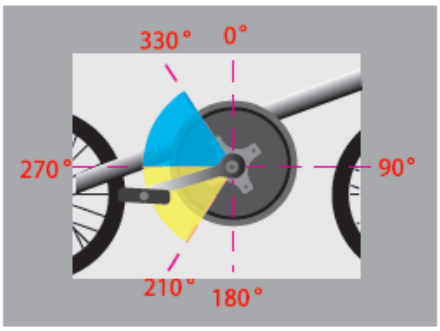
最高のパフォーマンスを得るには、このマニュアルの指示に従ってください。
製品に不具合がが発生した場合は販売店にご連絡ください。
以下はキックシフト3速ボトムブラケットKS3の内容を指しています。

1-2潤滑油について

定期的に注油を行う必要はありません。ご使用されている間、グリースの補充や交換をする必要はありません。
ボトムブラケットは絶対に分解しないでください。

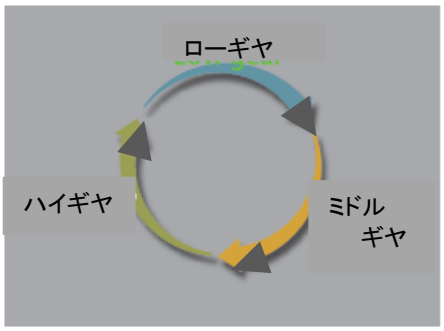
1-3変速について

1. 左右のクランクに関係なく下図の270° ～ 330° の間でクランクを逆回転します。
2. クランクを逆回転し続けると、クランクが水平を超える位置でクリック音が鳴りギヤが変わります。
3. もしも、ギヤを2段階変速する場合は2回目のクリック音が鳴るまでクランクを逆回転させてください。その後クランクを正回転（ペダルをこぐ）と選択したギヤレシオで走行できます。



ギヤレシオ

ローギヤ	80%
ミドルギヤ	100%
ハイギヤ	130%



2. 警告

＊走行する前に内装ギヤのロックリング、キックスタンド、ドライバーロックリングやクランクボルトが固定されていることを確認してください。

＊乗車中や変速中は立ちこぎはしないでください。転倒する恐れがあります。

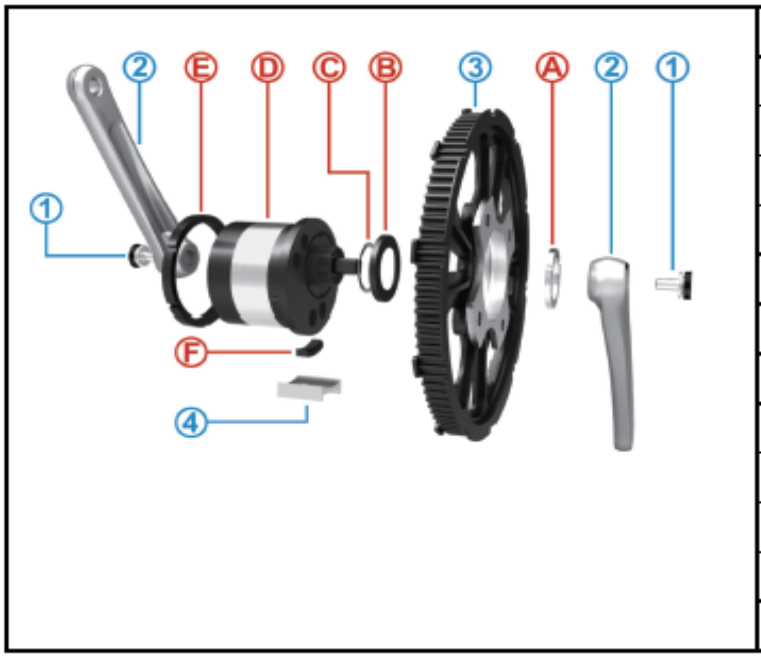
＊ハイギヤからローギヤに変速するときはペダリングに注意してください。
ハイギヤとローギヤでは大きなギヤ差があるため、ペダリング中に空転現象が起こる可能性があり注意が必要です。

＊内装ギヤを分解しないでください。不具合が発生した場合は正規販売店にご連絡ください。

＊内装ギヤの分解、通常使用による摩耗、不適切な使用は保証の対象外になります。

3. 注意

ギヤシフト操作は1段づつ確実に変速することをお奨めします。



KS3 Parts		
Item	Description	Sales No.
A	Driver Lockring	HSL974
B	Dust Cap	HSL975
C	Spacer	HMW545
D	KS3 Internal	HSX170
E	KS3 Internal Lockring	HSA835
F	Locating Block	HSL976
Other Parts		
1	Crank Bolt	
2	Crank	
3	Front Belt Wheel	
4	Kickstand Bracket	

5. TIGHTENING TORQUE LIST

Driver lockring	35-45 Nm
Kickstand bolt	15 Nm
Internal lockring	50-60 Nm
Cranks bolt	35-45Nm

限定保証

● この STRIDA は
当社の製品規格に基づき厳重な品質管理のもとに製造されたもので、使用者の通常の使用または当社の取扱説明書に従って使用された状態で、万一品質上の不具合（瑕疵など）が起こりましたときは、本保証書の記載内容により、保証修理を実施する販売店、又は代理店で無償修理（以下保証修理という）を行います。
交換した不具合部品は当社の所有となります。
修理に関し出張修理の依頼を受けたときは、出張費を請求する場合があります。
● この保証は STRIDA のフレーム及び構成部品の修理または交換に限定されます。
● STRIDAは軽量設計されているため、100kgを超える体重の方は使用できません。
また、一般的な自転車と異なる形状により素材や構造の特性により使用条件が限定されることから、STRIDA の取扱説明書を必ずお読みいただきご使用ください。

保証期間

保証期間 ： 5年間
限定保証 ： STRIDAのフレーム本体（セット）
＊この保証は STRIDA に正規代理店、販売店で購入された所有者にのみ適用され、他に譲渡された場合は対象外となります。
＊この保証は通常の条件下及び使用方法で、適切なメンテナンスがなされた STRIDA を運転していることが条件となります。
＊この限定保証はサドル、シートモールディング、ホイール、ブレーキ、ハンドルなどの構成部品及び塗装仕上げには適応されません。

保証期間 ： 1年間
限定保証 ： すべての部品（消耗品及び摩耗部品などは対象外）
＊この保証はSTRIDA に正規代理店、販売店で購入された所有者にのみ適用され、他に譲渡された場合は対象外となります。
＊この限定保証は通常の条件下及び使用方法で、適切なメンテナンスがなされた STRIDA を運転していることが条件となります。

保証を受けるための条件および手続き

● 保証修理を受ける場合、本保証書と STRIDA をご持参ください。
● なお本証の提示がないと保証修理は受けられません。本保証書の字句等を書き換えた場合無効とします。
● ご贈答、転居及び他に譲渡する場合は販売店にご相談ください。
● お買い上げのSTRIDAは初期点検(2ケ月以内)その後1年ごとに定期点検を受けて下さい。（定期点検、調整は有料です）
● この保証書は日本国内で使用される STRIDA が対象で、車体ナンバーの刻印があるものに適応されます。海外に持ち出す場合はその時点で打ち切りになります。
● 保証修理に関するお問い合わせは、販売店へご相談ください。
● 限定保証には STRIDA の正規代理店、販売店の出張修理や発送にかかる費用は含まれていません。

保証対象外部品（次に示すものの交換修理は使用者負担となります）

- ブレーキワイヤ、ディスクブレーキパッド、タイヤ、チューブ、駆動ベルト、などの摩耗部品、疲労品及び経年劣化により生じた塗装面、メッキ面、その他これに類する不具合及びプラスチック、樹脂部品などの自然退色。

保証の適応除外（次に示すものに起因する故障は保証修理の対象とはなりません）

- 使用者の使用上の不注意によるもの。
- 衝突、転倒、道路の段差等に乗り上げ又は溝に落ちて生じたもの。
- 法令の違反行為によって生じたもの（最大積載オーバー、二人乗り等）。
- 保守、整備の不備または間違いにより生じたもの。
- 当社が指定する定期点検整備を実施しなかった場合。
- 使用者が構造、機能を改造または変更したため生じたもの。
- 酷使または一般に自転車が走行しない場所での走行（道のない山岳ツーリング、道のない土手の傾斜面等）により生じたもの。
- レンタサイクルなど不特定多数で使用される場合。
- 地震、落雷、火災、水害、公害その他人災、天災、地変によって生じたもの。
- 部品の通常の摩耗または疲労と認めたもの（タイヤ、チューブ、ブレーキワイヤゴム等）。
- くぎ、ピン、ガラス、切削くず、鋭利な石ころなどで生じるパンク。
- 一般に機能上の影響のない感覚的現象（音、振動など）。
- この保証は盗難保険ではありません。盗難保険及び防犯登録については販売店にご相談ください。

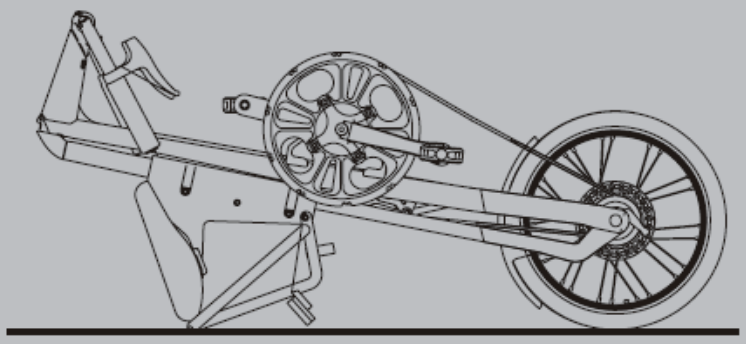
- この保証書は、本書に明示した期間、条件に基づき保証修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理等についてご不明な点はお買い上げ販売店にご相談ください。

- 部品の保有期間

保証期間経過後でも性能を維持するための補修機能部品の情報は、お買い上げ店又は、代理店にお問い合わせください。なお、新型が売り出された場合は、新型又は代替品にて対応させていただいておりますので予めご了承をお願いいたします。

STRIDA

a whole new way to move



distributor information

輸入元

GSジャパン株式会社

〒559－0023大阪市住之江区泉2丁目1番88号
TEL(06)6686－0995 FAX(06)6686－5220
http://www.gsglobal.co.jp/bike

www.strida.com

part : 591-28 issue : 1
©2008 strida ltd